

会報

2022.8

第19号

ふれあいの会

兵庫県在宅保健師の会

会員数 155人 (令和4年7月1日現在)



会長あいさつ

兵庫県在宅保健師の会 会長 濱田 和子

新型コロナウイルスの感染収束が見通せない中、会員の皆様にはご心配やご迷惑をおかけしました。また、新型コロナウイルス対策事業にご支援ご協力頂きました会員の皆様に感謝し、お礼申し上げます。

このたび、令和4年度のスタートを切ることが出来ました。

全国の在宅保健師等会は、令和3年に沖縄県にも設置され、41都道府県3,633名が構成員となりました。活動に期待されながらも、全国的な傾向として、再任用・再雇用の増加により入会者が減少し、会員の高齢化があげられ、新型コロナウイルスの感染拡大のため活動が難しいと言われています。

わが兵庫県は地域も広く、ブロック別会員数や年齢構成にも違いがあり、会員の減少傾向は全国と同じです。

まだまだ感染の収束が見通せませんが、会報の発行、研修会の開催を予定しています。人とのつながりを深めるブロック交流会も開催できるようにと願っています。

ふれあいの会も設立から20年を迎えました。本来なら本年記念行事を行うべきところ、コロナ禍ゆえ、準備もままならず次年度開催と考えております。

今回、都道府県在宅保健師等会全国連絡会役員に近畿地区代表として、令和3年10月から2年間就任することとなりました。

今年も会員皆様のご協力ご支援のもと、会を運営していきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

令和4年度役員紹介

会長	濱田 和子		
副会長	寒者 恵 (北播ブロック)	副会長	桑田 美恵子 (西播ブロック)
幹事	小山 初美 (阪神ブロック)	幹事	山吹 まゆみ (阪神ブロック)
	有馬 富子 (東播ブロック)		西垣 悦代 (但馬ブロック)
	石橋 容子 (但馬ブロック)		石塚 ひとみ (丹波ブロック)
	米田 静子 (淡路ブロック)	常任幹事	宮崎 博美

会員の皆さま、どうぞよろしくお願いいたします。

●令和2年度総会・研修会●

令和2年10月、令和2年度兵庫県在宅保健師の会（ふれあいの会）総会を新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、書面開催した。（賛成者数：148名、会員数 204名）

議案事項として、令和元年度事業報告、令和2年度事業計画及び兵庫県在宅保健師の会会則改正（案）についての議案審議が行われ、いずれも賛成多数により原案のとおり可決された。また、役員選出については濱田和子氏が会長に選出された。研修会については中止した。

●令和3年度総会・研修会●

令和3年11月、令和3年度兵庫県在宅保健師の会（ふれあいの会）総会を新型コロナウイルスの感染拡大防止のため書面開催した。（賛成者数：121名、会員数172名）

議案事項として、令和2年度事業報告及び令和3年度事業計画について議案審議が行われ、いずれも賛成多数により原案のとおり可決された。

研修会として、下記のフレイル予防資料配付を行った。

- ①「新型コロナウイルス感染症 高齢者として気を付けたいポイント」（出典：一般社団法人日本老年医学会）
- ②「フレイル予防プログラム普及冊子」（出典：兵庫県健康福祉部健康局健康増進課）

●令和4年度総会・研修会●

令和4年5月25日、令和4年度兵庫県在宅保健師の会（ふれあいの会）総会・研修会を兵庫県国民健康保険団体連合会において開催した。

【総会】（出席者：20名）

濱田会長からの挨拶のあと、兵庫県国民健康保険団体連合会福田専務理事、来賓兵庫県保健医療部健康増進課稲岡課長から挨拶があった。

議案事項として、令和3年度事業報告、令和4年度事業計画及び役員の選出（案）についての議案審議が行われ、いずれも原案のとおり可決された。



【研修会】（当日出席者：20名、オンライン研修受講者：34名）

1. 講演：「兵庫県内の保健師活動の現状」

講師：兵庫県保健医療部健康増進課

副課長兼感染症対策課主幹 山下 久美 氏

2. 講演：「コロナ禍におけるロコモ・フレイルの現状とその対策」

講師：国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター

理事長 荒井 秀典 氏

山下副課長から、兵庫県内の保健師設置数の推移、人材育成体制の構築の推進、保健活動におけるトピックスについて説明があった。荒井先生から、コロナ禍におけるフレイルの現状から、活動自粛による自主的運動減少によるフレイル進行の可能性について説明があり、感染制御と高齢者のフレイル対策を同時に行うことの重要性について、改めて理解ができる内容であった。

本研修会は、オンデマンド研修とし、希望者34名に講演視聴用URLを配布した。



◆ 令和4年度 第2回研修会のご案内 ◆

開催時期は令和4年10月頃を予定しております。詳細につきましては、後日、開催通知を送付させていただきます。皆様のご参加をお待ちしております！

● 令和2年度、3年度都道府県在宅保健師等会全国連絡会 ●

令和2年度、3年度の都道府県在宅保健師等会全国連絡会については、国民健康保険中央会より、講演者、事例発表者、国民健康保険中央会からの情報提供についての資料と解説動画を収録した媒体の送付を受けた。

● 叙勲受章者紹介 ●

瑞宝小綬章を受章して



濱 口 清 子 (阪神ブロック)

保健・医療・福祉分野や青少年・女性・子ども施策の分野で長年務めた私は、はからずも令和2年秋の叙勲に際し瑞宝小綬章の栄に浴しました。この栄誉もひとえに多年にわたる先輩保健師のご指導や共に働き続けてきた保健師仲間の皆様のご指導・ご支援の賜と心から感謝申し上げます。

瑞宝章は、男女共通して国及び地方公共団体の公務または公共的な業務に長年従事し、功労を積み重ねた人を表彰する場合に授与する勲章です。

しかしながら歴史を鑑みましてもこれまでの受章者はほぼ男性。近年は行政職も女性の採用が拡大し、長く勤められる環境や制度が整い、活躍の場や機会が増え、その活躍が評価され、女性管理職が大幅に増え、やっと瑞宝小綬章も女性が受章できる時代になったと思います。後に続く保健師や女性職員への期待が膨らんでいるところです。

これからは健康に留意しながら、自分にできることで少しでも御芳情に報いたいと思っています。

瑞宝単光章を受章して



中 野 恵 子 (淡路ブロック)

令和3年4月思いがけず瑞宝単光章を拝受しました。長く保健師を続けてきただけで大きな功績もなく恐縮しております。

ここまで保健師を続けてこられたのは、仕事の面白さを教えてくださった先輩保健師や同僚に恵まれたこと、生活を支えてくれた家族の協力があったのお陰と深く感謝しています。

寝たきり老人の在宅ケア、精神障害者の家族の方と立ち上げた作業所、愛育班の方との被災者ケア、精神障害者ピア活動、難病患者の療養支援、市保健師と協働で進めたいいき百歳体操等、どの活動もそこに暮らす人々から学び、いつも保健師仲間とのチームプレーで楽しく進めてきました。常に人により添う姿勢を大事に、今少しお役に立てるよう励みたいと思います。よき仕事、よき人々に巡り会えたことを本当に幸せに感じています。

●叙勲受章者紹介●

瑞宝小綬章を受章して



中野 則子 (東播ブロック)

この度、令和4年春の叙勲で「瑞宝小綬章」を賜り、身に余る光栄に浴しました。この受章は兵庫県の保健師として、38年間時代が求める、地域ニーズに対応した県政の推進に共に仕事をしてきた多くの皆様のご指導、ご支援のお蔭と心より感謝申し上げます。

振り返れば、健康づくり政策を推進するために市町保健センターの設置と保健師の配置の促進、認知症高齢者の地域ケアシステムづくり、阪神・淡路大震災からの創造的復興に向けた災害時の保健活動の体制づくり等新しい政策課題に挑戦してきたことが強く印象に残っています。

これからも、誰もが安心して暮らせる地域づくりに地域の仲間と共に活動していきたいと思っています。

●幹事退任のあいさつ●

竹中 道代 (東播ブロック)

東播ブロック幹事として2年間お世話になり、ありがとうございました。

前幹事有田さんから丁寧な引継ぎ書をいただき、幹事の役割を担うことができました。

幹事会では国保中央会の情報をいち早く知ることができました。また、各ブロックの活動についても参考にさせてもらうことが多くありました。

毎年総会・研修会が開催されるのをあたり前とと思っていましたが、コロナ禍以来、様子が一変することも分かりました。

今はコロナが早く収束し、以前のような活動ができることを願っております。

梶谷 千鶴子 (丹波ブロック)

2年間、県在宅保健師の会に丹波ブロック幹事として活動させていただきました。

在職中は、健康づくり分野から離れ福祉分野中心の仕事をしていましたので、健康づくりの講演会に出席し、その内容や活動をとっても新鮮に感じました。

また、ブロック内での交流では、日頃交流のなかった現役の保健師さんから、地域内の活動や現状を学び、新しい気づきが多くありました。

これからも、老若を問わず仲間が増えてブロック活動が活性化できればと思います。

私自身も本会に引き続き参加することで、楽しく成長できたらと思っています。幹事期間中は、ご協力ご支援いただきありがとうございました。

退任報告

兵庫県在宅保健師の会副会長を務めておられた藪田千津子さまが令和3年4月に逝去されたとの報をご親族から事務局に受けました。

長年、兵庫県在宅保健師の会の活動にご尽力いただきましたことに感謝するとともに、謹んで哀悼の意を表します。

●新幹事あいさつ●

山 吹 まゆみ (阪神ブロック)

阪神ブロックの幹事をさせて頂くことになりました山吹です。どうぞよろしくお願ひいたします。

長引くコロナやウクライナ戦争、知床事故と暗いニュースが続く日々です。

幼い孫にはせめて明るい表情を心がけたいと、湿布を貼りながら新緑の街を一緒に散歩して、虫や花を楽しんでいます。



有 馬 富 子 (東播ブロック)

東播ブロックの幹事として就任いたしました有馬富子です。

この会では最新の知識を得ることのできる研修会ははじめ、地域のブロック交流会、健康教育や行政の支援など皆様が長年養われた専門性を活かした活動が実施されています。

在宅保健師の皆様が兵庫県全体で交流できるようにするとともに、各ブロックでの皆様のつながりが強くなる活動のお手伝いができればと思っています。



石 塚 ひとみ (丹波ブロック)

幹事をお引き受けしたのが2年前。新型コロナウイルス感染症が流行し、何も活動できないまま時間が過ぎ…改選の時期がめぐり来て、先輩に相談したところ「何もしていない」と一喝。引き続き幹事を務めさせていただくことになりました。

今期こそは、新型コロナウイルスが収束し、交流会や研修会等の活動が実施できるよう願っております。会員の皆様には、ご協力の程よろしくお願ひいたします。



●会員だより●

コロナ禍での暮らし

桑 田 美恵子 (西播ブロック)

新型コロナウイルス感染により、ふれあいの会も2年余り活動ができない状態が続きました。あっという間にパンデミックになり、日常生活にも大きな変化がおきました。自由に外出もできず、友達ともなかなか会えず、心が閉ざされた様な不安な日々でした。とりあえず、何かできることからと思い、まず基本的な感染予防を心がけ、体力維持のため、ウォーキングを始めました。今では、1日1万歩を目標にがんばっています。

このたび副会長という重責を引き受けさせていただくことになりました。不安だらけですが、皆様のお力をおかりし、努めさせていただきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。

私とボランティア活動

寒 者 恵 (北播ブロック)

「日本語が話せたらできます」という言葉に、15年前に始めたのが日本語教室のボランティアです。現役の頃から東南アジアからの保健衛生を学ぶ研修生を受け入れていたので、抵抗なく活動を始めることができました。

最初に日本語が分からなかった10歳の中国人の女児も、漢字で意味を理解してくれて、外国人と接することで知らなかった国の文化や言葉、習慣などに興味を湧きました。昨年担当した日本語が上手なベトナム人の男性は、「私は、ベトナムに行ったことも、料理も食べたことがない」というと、今年の初め、家に招待して、ベトナム料理でもてなしてくれ、私は筑前煮などの和食を持参して、身近な国際交流を楽しみながら、今年もこのボランティア活動を続けています。

●会員だより●

こころに残ること

小山 初美 (阪神ブロック)

1つ目は、前副会長藪田千津子さんとの出会いです。10数年間阪神ブロックの幹事として、お付き合いをさせていただきました。保健師として常にアンテナを張り、豊富な知識を持ち、多岐にわたり多くのことを教えていただきました。令和3年4月、突然の旅立ち。コロナ禍ゆえ、お見送りもできませんでした。本当にありがとうございました。

2つ目は、令和元年11月16日(土)の阪神ブロック交流会です。竹中道具館見学と食事会です。竹中道具館では、木造建築の木組や工具の説明を受け、日本文化の歴史と奥深さに感動しました。最近の保健師を取り巻く情報を交換し、食事はたんぱく質たっぷりのお肉に舌鼓を打ちました。次回開催の要望が多くあり、検討しています。

最近のできごと

石橋 容子 (但馬ブロック)

コロナウイルスの流行により、今までの様に会えて話すことができなくなり、近所の方でもお会いする事に遠慮する毎日でした。最近少しおちついて以前の様にすごせる様になりました。区内の行事も少しずつ開催されるようになり、ほっとしていたところ、尊敬している大先輩が先日亡くなられたと連絡があり、すぐに友人とお会いしに行きました。90才と言われ1か月半入院されて亡くなられたとお聞きしました。とても凛としたお顔でした。感謝してお別れしました。

私も一日一日高齢になっていきます。今ある事に感謝して過ごしたいと思います。

最近、絵本の読み聞かせのグループに入り、時々子供達にお会いできます。我が子にはあまり読めなかったですが、子供達のキラキラした眼に出会い、元気をいただいている私です。

幸せは三密多くある暮らし

西垣 悦代 (但馬ブロック)

この2年間、活動の延期や中止が続きました。退職後、用事や行く所を作りよく外出していたので、初めて家で過ごす時間が増えた次第。読書量が少しだけ増え、ネット環境が、減った繋がりを埋めてくれとても助かっています。今後コロナ禍が下火になっても、これを機に、衛生に一層気をつけ、新しい形のコミュニケーションを広げたいもの。

ネットは便利な福祉用具と捉え、苦手意識を乗り越え、お近づきになりたいものです。とは言え、人と人のふれあいの恋しさはどんな便利な道具でも満たしてくれないことも知った2年間です。少しでも人と接する機会を大切に過ごしたいと思う今日この頃です。

活動の成果と今後の取り組み

米田 静子 (淡路ブロック)

淡路市上河合ふれあいの里づくりは、平成28年、健康劇を実施する中で地域の健康問題を出し合い、取り組みが始まりました。令和4年3月、淡路市長並びに淡路市社会福祉協議会から地域福祉活動に対して表彰されました。特に三世代交流(小・中学生参加)の活動は他に類を見ないとの嬉しいコメントを頂きました。今日では、地域交流、楽しみの場、健康づくり、生活情報交換、助け合いの場となっています。

みんなを支える地域づくりは、平成30年12月、南あわじ市西淡地区で、200人の観客を前に地域の皆さんと健康劇で地域の現状と笑いを熱演しました。その後、地域では支え合いの一步として、買物に対する助け合いが始まっています。今後更に健康劇を活用し、住民の皆さんと共に地域に目を向けて活動していきたいと思ひます。

● 令和2・3年度兵庫県在宅保健師の会（ふれあいの会）活動状況調査 ●

令和2、3年度については、兵庫県在宅保健師の会（ふれあいの会）としての活動は休止しました。

令和2年度

調査対象者：201人 回答者：164人 回答率：82%
（調査年月：令和3年3月）

令和3年度

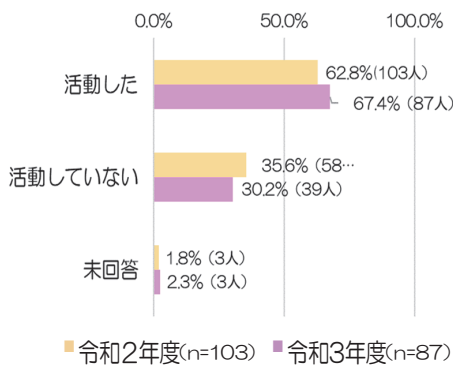
調査対象者：166人 回答者：129人 回答率：78%
（調査年月：令和4年2月）

令和2・3年度の会員の活動状況について

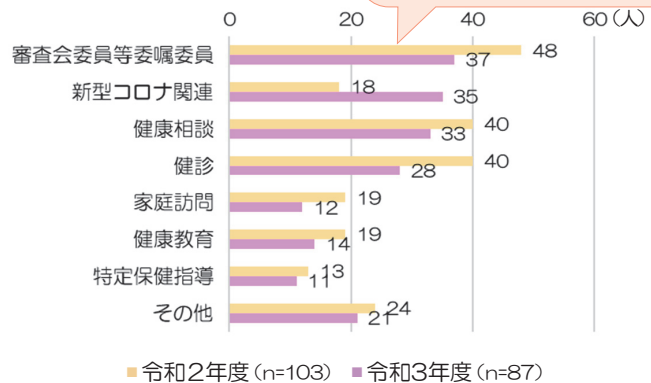
*は複数回答

① 「在宅保健師の会」の活動について

①-1 参加の有無

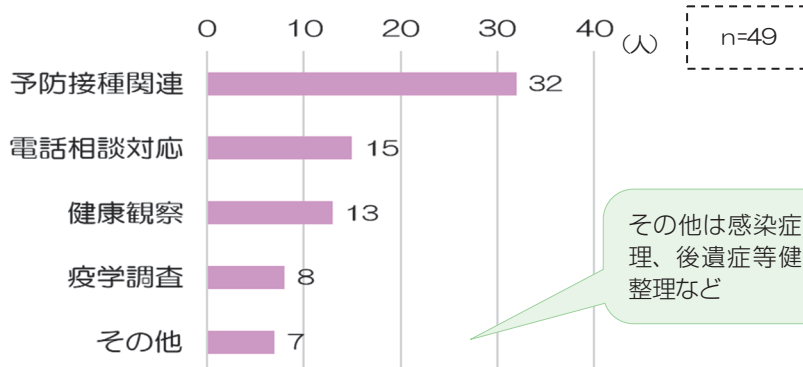


①-2 活動内容*



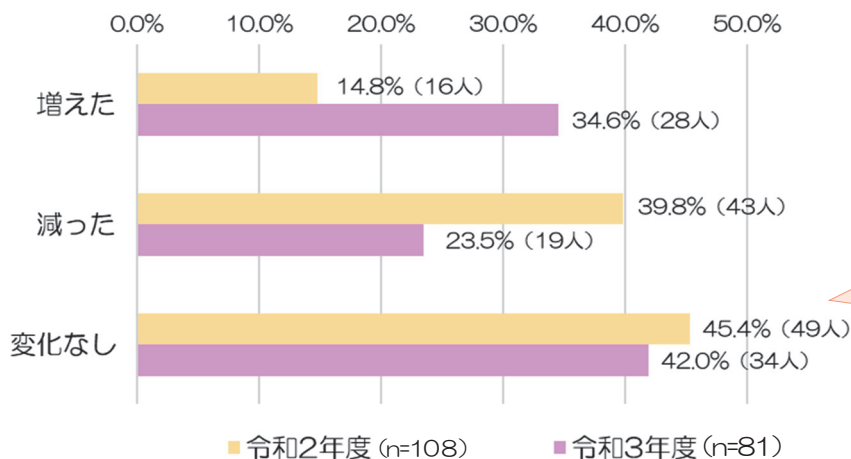
● 健診、健康相談、審査委員等委嘱委員が多い
● 令和3年度のコロナ関連活動が増加した

② 新型コロナウイルス関連業務の実施状況について（令和3年度のみ）*



その他は感染症関連の備蓄管理、後遺症等健康相談、書類整理など

③ 新型コロナウイルス感染症による保健師活動量の変化について

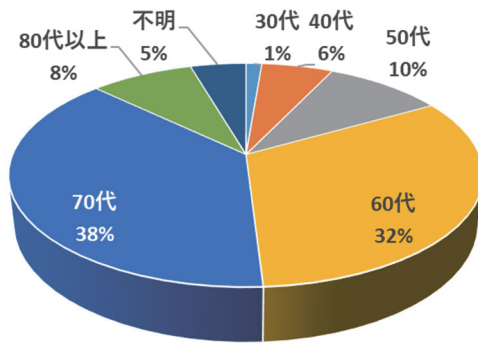


● 令和2年度は保健師活動量が減少したが、令和3年度は活動量が増加した

調査にご協力いただき、ありがとうございました。

● 令和4年度会員の状況 ●

<年齢構成>



<地区別会員数>



ブロック名	人数 (人)
神戸	25
阪神	27
東播	23
西播	22
北播	18
但馬	19
丹波	16
淡路	5
計	155

(令和4年7月末現在)

● 入会のお勧め ●

兵庫県在宅保健師の会（ふれあいの会）では、新規会員を募集しております。

<入会の要件>は、県内在住等で保健師の資格をお持ちで、退職された方や、臨時・嘱託で勤務されている方等です。豊かな経験を活かし、地域のみなさんと一緒に健康づくりに取り組んでみませんか？

ご入会希望につきましては、事務局までご連絡をお待ちしております！



●● 事務局から ●●

本年度より、事務局担当部署が健診保健係から保健事業係に名称変更いたしました。

どうぞよろしく願いいたします。

【担当】

内田主任(保健師)、松田主事(保健師)、
中田主事(保健師)、
宗事業課長補佐、岩路事業課長

編集後記

会報第19号を発行するにあたり、会員の皆様、関係者の方々の多大なご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

このたび、2年ぶりに会報発行することができ、嬉しく思います。令和4年度からは会報委員に新たなメンバーを加えて、会報作りに取り組んで参ります。皆様の原稿、作品、活動報告をお待ちしております。季節柄、熱中症には十分気を付けましょう！

【会報委員】 有馬富子、寒者恵、桑田美恵子、宮崎博美